

まなびの森

校長通信 第7号 R2.6.30
廿日市市立吉和小・中学校
校長 森岡 勝司
TEL(0829)77-2010

教育目標「夢や目標をもち、果敢に挑戦し、自己実現する児童生徒の育成」

広島も梅雨入りしました！ 校長道徳「命の授業」をしました！

広島も本格的な梅雨入りとなりました。梅雨空を見る機会が多くなるのかと思いがちですが、私にとって毎朝の吉和への通勤は、すがすがしい気持ちで一杯です。新緑の木々はホントに素晴らしいです。そして何よりも吉和学園の皆さんの笑顔と元気な歌声は私にエネルギーを与えてくれます。特に小学1年生の歌声は響き渡っていて、気持ちの良い朝を迎えています。



また、最近は夜となると蛍も飛んでいるようです。去年は、中津谷溪谷へつながる道へ入り、幻想的な蛍の乱舞を見ました。大感動でした。毎年語っていますが、日本にはなんと40種類のホタルが生息しているそうです。ほとんどのホタルは成虫の段階で口器が退化し、水を摂取する機能しかないそうです。つまり、幼虫時代に蓄えた栄養で生き、成虫になってわずか1～2週間で生涯を閉じます。その点で、ホタルは小さな命を精一杯に輝かせて生きているわけです。吉和の夜空に乱舞するホタルの姿を見て考えてみたらどうでしょうか？ 私達の一生も、壮大な宇宙から見ればほんの一瞬の出来事かもしれません。一日一日を精一杯生きるホタルに学ぶべき点があるとすれば、私達も今日一日を精一杯、自分らしく生き抜いていきたいなと思います。

「命の授業」のしめくくり、「あなたはどのような輝きをしますか？」と問い、その答えとして2つ伝えました。「あなたはいじめるために生まれたものではありません。まわりの人に夢や希望をあたえるために生まれたのです。」と。

そしてもう1つは、「未来を創る(つくる)のは遠い彼方(かなた)にあるのではなく、未来を創るのは自分自身であり、今、この瞬間、頑張ることです！」と。宝の存在である吉和学園の子どもたちに、希望ある人生であることを願っています。みなさんのひたむきな頑張りが希望を与えることを信じて！

さて、東大宇宙博士で有名な井筒智彦さんの著作「Think ^{シンク} Galaxy ^{ギャラクシー} 銀河レベルで考えろ」に興味深い話がありましたので一部紹介します。

「なんだか疲れがとれず、やる気や意欲もわかずに気分が落ち込む。こんな人はテストステロンが不足しているのかもしれない。テストステロンとは、筋肉や骨をつくり、体脂肪を燃やすはたらきをする体に必須のホルモンだ。チャレンジ精神や競争心を生み、やってやるぜ！というポジティブな気持ちになる。筋トレすることでテストステロンが分泌されることが良く知られているが、ただ星を見る。それだけでいい。夜空を見上げるということは、曲がった背筋を伸ばし、胸を張るということだ。猫背でいるよりも胸を張ったほうがテストステロンは増加する。2分間胸を張るとテストステロンは20%増加する。」と。夜空を見る2分間はチャレンジ精神を高めてくれるそうです。夜空の美しい吉和です。試してみてくださいね。